

**【資産名】**

小笠原諸島

**【所在地】**

東京都小笠原村

**＜行き方＞**

小笠原へは、定期船「おがさわら丸」（週1便）が、東京竹芝港から出ている。竹芝港から父島まで船で約25時間。母島へは、父島から「ははじま丸」が往来しており、約2時間。

**【資産概要】**

東京から南へ約1000キロ離れた太平洋上に南北約400キロに渡り散在する大小30余りの島々からなる小笠原諸島。大陸と一度もつながったことがなく、独自の動植物が特有の進化を遂げ、固有の生態系が形成されている。





**【資産地域】**

聳島列島、父島列島（父島は集落等を除く）、母島列島（母島は集落等を除く）、火山（硫黄）列島のうち北硫黄島・南硫黄島・西之島、父島列島及び母島列島周辺海域

**【面積・人口】**

<面積>

陸域 約 6,360 ha    海域 約 1,580 ha    計    約 7,940 ha

<人口>

父島：約 2,000 人    母島：約 450 人

### 【遺産の価値】

世界遺産一覧表に記載されるための基準（i～xのうち、iからviが文化遺産、vii～xが自然遺産の基準）のうち、小笠原諸島は、小面積でありながら、そこでしか見ることのできない固有種の割合が高いこと、特に陸産貝類と植物において、適応放散という進化の過程の貴重な証拠の多さが評価され、基準ix（生態系（生物進化の過程））に合致するものとして世界自然遺産に登録された。



### 【保護管理】

遺産地域は、国立公園 原生自然環境保全地域、森林生態系保護地域、国指定天然記念物、国指定鳥獣保護区に指定され適切に保護されている他、「世界自然遺産推薦地小笠原諸島管理計画」に基づき、外来種対策をはじめとする保全管理対策を推進。

